

棚尾地区まちづくり事業

平成 27 年 6 月 25 日 (木) 19 時～

棚尾公民館 3 階

第 47 回 棚尾の歴史を語る会 次第

進行 (小笠原幸雄)

1 前回までのテーマに関する参考意見

棚小校庭の造営物、棚尾の橋、昔の地名、酒造りなど

2 テーマ 76 「棚尾言葉」

(1) 説明 (磯貝国雄)

(2) 出席者による補足説明、感想など

3 一口テーマ 1 「碧南市の市章」

(1) 説明 (磯貝国雄)

(2) 出席者による補足説明、感想など

4 連絡事項・情報交換など

5 次回日程

(1) 第 2 回映像版「棚尾物語」製作部会

7 月 16 日 (木) 7 時 30 分から シナリオの編集作業 (第 1 回)

(2) 第 48 回棚尾の歴史を語る会

8 月 20 日 (木) 7 時から

「汐田行者堂」、「森下不動尊」、「中道地蔵尊」「碧南で最初の信号機」

棚尾の歴史を語る会 テーマ 76

「棚尾言葉」

1 要旨

普段何気なく使っている言葉を、他所の人や子どもにどういう意味か尋ねられた経験はありませんか。又、結婚や引越しで棚尾へ移られた方で最初は分からなかった言葉はありませんか。例えば先日も郵便投込みタウン誌に「せこみち」が載っていた。棚尾にも多くある狭い道のことで、標準語ではなくこの地方の方言である。

現在はテレビなどの影響で標準語の生活をしているが、地元言葉の方がよく分かり、親しみがわくことがある。

2 碧南弁、三河弁

テーマ名は「棚尾言葉」としたが、現在はきちんとした意味での棚尾の方言があるのではなく、殆どの言葉の範囲は、碧南弁、三河弁と言われ近隣と共に通している言葉であり、標準語と区別のつかない言葉も多い。

従って、今回の話合いは「棚尾で現在も使われている言葉、或は使われていた言葉で、標準語とは少し異なる地元の言葉」という程度で進めたい。

3 参考文献

「しゃべってみりん三河弁」たんぽぽニュース（平成16年3月～17年9月）

「西三河の方言」 西尾市市子町：鈴木喜八郎 昭和47年発行

「碧南方言の文法について」 碧南市史料第30集昭和39年発行

「旭村誌」 碧南市史料第58集平成6年発行

三河弁、西三河棚尾言葉

五十音	番号	三河弁（棚尾言葉）	意味	使われ方
あ	1	あーむく	あおむく（仰向く）	あーむいて寝る
	2	あいさ	間	歯と歯のあいさに
	3	あいさこさ	あいまあいま	
	4	あいじやー	あれでは	あいじやーあかんわ
	5	あいまち	怪我	
	6	あか	赤子	
	7	あがり	もうけ	今日のあがりはどうだい
	8	あかん	だめ	今日はあかん
	9	あかん	開かない	この戸あかんわ
	10	あきね	商い	あきねに行く
	11	あきやーひん	開かない	ドアがあきやーひん
	12	あきやーひん	空かない	席が空きやーひん
	13	あげん	あんなに	あげん酒を呑んだ
	14	あすんどる	遊んでいる	いつまであすんどるだ
	15	あたける	暴れ騒ぐ	
	16	あっこ	あそこ	あっこに置いてある
	17	あっちや	あちらへ	あっちやへ行く
	18	あもすもない	あつという間に	あもすもなく決まった
	19	あもすもない	どうしようもない	本当にあもすもないわ
	20	あやひん	ない	探してもあやひん
	21	あよぶ	歩む	
	22	あらすか	ない	そんなことあらすか
	23	あらや	分家	あらやに出る
	24	ありたけ	あるだけ、ありったけ	ありたけ使う
	25	ありんぼ	蟻	
	26	あわくう	あわてる	
	27	あんぐらかす	あぐらをする	
	28	あんた	あなた	あんたどうするの
	29	あんたがれ	あなたの家	あんたがれのおばあさん
	30	あんだけ	あれだけ	あんだけ言ったのに
	31	あんたとこ	あなたの家	あんたとこのおばあさん
	32	あんなー	あのねー	あんなー聞いとくれん
	33	あんべ	病気	あんべがわるい
い	34	いかすかー	行きはしない	そこへはいかすかー
	35	いかん	行かない	そこにはいかん
	36	いかん	いけない	そんなことしちゃーいかん
	37	いきやーひん	行きはせぬ	そこにはいきやーひん

38	いきん	行きなさい	
39	いくでな	行くよ	買い物に行くでな
40	いくでな	帰るよ	暗くなつたで、いくでな
41	いっくらてっても	いくらなんでも	
42	いごく	動く	いごいとる車
43	いこまい	行きましょう	買いにいこまい
44	いざる	ずれる、ずらす	こっちへいざらして
45	いじくる	もてあそぶ	いじくりまわす
46	いしな	石	いしながあたつて
47	いじや	行こう	おまえもいじや
48	いせくれる	いたずらする、悪さする	いせくれるな
49	いちゃつく	じやれる	
50	いっちょうろうそく	一番上等のもの	
51	いとまごい	死別、別れを告げる	
52	いどむ	喧嘩を仕掛ける、女に言い寄る	
53	いなう	担う	
54	いなだく	いただく	
55	いみぞ	溝	いみぞに落ちる
56	いやーひん	言わない	悪口をいやーひん
57	いらん	いらない	これはいらん
58	いれもん	物を入れる器物	
59	いわん	言わない	あの子にはいわん
60	いわんどく	言わないでおく	このことはいわんどく
う	61	うでる	茹でる
え	62	ええころ	ええかげん、でたらめ、 ええころなこと言うな
	63	ええころ	適当に ええころにやつとけ
	64	ええとこ	良いところ えーとこ知つとる
	65	ええとこ	良い家柄 えーとこの子ども
	66	えがむ	歪んでいる 顔がえがむ
	67	えこじ	かたいじ えこじはやがって
	68	えごびつ	いびつ
	69	えざらかす	位置をずらす えざらしとくれん
	70	えせくれる	からかう
	71	えばる	地位を誇示する
	72	えぶる	燻る (いぶる)
	73	えらい	疲れる 走るとえらい
	74	えれえ	えらい、苦しい、大変
	75	えれもん	入れ物

	76	えんばな	縁側の端	
お	77	おあたり	忌日、命日	
	78	おいでる	居る（敬語）	こっちへおいでるかん
	79	おいでん	いらっしゃい	こっちへおいでん
	80	おいな	おいで	こっちへおいな
	81	おええ	多い	
	82	おおじょうこいた	苦労した	あの時はおうじょうこいた
	83	おかげ	おかげ、副食物	
	84	おかげぶんぶん	コガネムシの類	
	85	おきよー	大きく	まーおきよーなって
	86	おくれん	ください	わしにもおくれん
	87	おぜか	大勢	おぜかで行く
	88	おせる	教える	
	89	おそがい	恐ろしい、怖い	おそがい話
	90	おそがけ	遅くから	おそがけから出掛ける
	91	おちょくる	ふざける、からかう	
	92	おどおどする	どきどきする	心配でおどおどした
	93	おどける	驚く	
	94	おとましい	勿体ない	捨てるのはおとましい
	95	おはながら	賭錢	
	96	おぶくさん	佛へ供えるご飯	
	97	おぼこ	人形	
	98	おやひん	いない	誰もおやひん
	99	おらがれ	俺の家	
	100	おらたー	私たち	おらたーだけで行った
	101	おんし	お前	おんしはどっちの味方だ
	102	おんしがとう	お前たち	おんしがとうのために
	103	おんた	動物の雄	おんたの犬
	104	おんのたれくそ	いやいや、しぶしぶ	
か	105	かえっこ	交換する	それとかえっこしたる
	106	かやい	痒い	
	107	かじかむ	寒さで動かなくなる	
	108	かしみる	ひつかく	猫にかしみられる
	109	〇〇かしゃん	〇〇かしら	できるかしゃん
	110	〇〇がてら	〇〇かたがた	行きがてら
	111	がなる	どなる	
	112	かぶさる	物で覆われる	
	113	かきみしる	かきむしる	

114	かやす	返す	もうかやすわ
115	からど	体	
116	〇〇がれ	〇〇の家	おんしがれ
117	〇〇かん	〇〇かね	行くかん
118	〇〇がん	〇〇かね	やだがん
119	がんがん	入れ物	がんがんに入れる
き	120	黄いない	黄色
	121	〇〇ぎし	〇〇だけ
	122	きずつない	気がひける
	123	ぎっちょ	キリギリス、イナゴ、バッタなど
	124	ぎっちょ	左利き
	125	きによう、きんの	昨日
	126	きもん	着物
	127	きやーらしい	汚い
	128	きょうもんで	気をもんで
く	129	くさぼこ	草だらけ
	130	くすぐる	刺さる、刺す
	131	くすべ	ほくろ
	132	くそだあけ	ばか者
	133	くませ	熊手
	134	くよ	くれ
	135	くるう	戯れる
	136	ぐろ	隅
	137	くんでくる	くずれてくる
け	138	けえくる	ひっくり返る
	139	けたくる	蹴る
	140	けつ	尻、最下位
	141	〇〇げな	〇〇だそうだ
	142	けなりい	うらやましい
	143	けなるがる	うらやましがる
	144	けもねえ	気配もない
	145	けやす	消す
			電気をけやす
こ	146	こーへん	来ない
	147	ごうまり	蛇の青大将
	148	こげな	こんな
	149	こげも	こんなに
	150	こしょくる	くすぐる
	151	こすい、こっつい	するい

	152	ごたいげさん	ご大儀さん	今日はごたいげさん
	153	こっぺり	残らず、全部	
	154	こっちや	こちら	こっちや来い
	155	こっつく	ぶつける	頭をこっつける
	156	ごつつお	ごちそう	ごつつおが出る
	157	こびそ	小規模	
	158	こみやる	侮る	
	159	ころまけ	ころりと負けること	
	160	こわ	製材のとき出た板切れ	
	161	こわい	固い	ごはんがこわい
	162	こわく	毀す	
	163	ごんずり	ごみ	ごんずりを捨てる
	164	こんどき	この次	こんどきは出来た
	165	ごんぼ	ゴボウ	
さ	166	さっきん	さきほど	
	167	さばくる	探す	引き出しをさばくる
	168	さぶい	寒い	外はさぶい
	169	さらくがいい	さっぱりしている	
	170	○○さら	○○ごと	箱さら
	171	○○さる	○○している	話しとらっさる
し	172	しいじゅう	いつも	
	173	○○しとる	○○している	勉強しとるか
	174	しつぱね	雨水が跳ね上がること	
	175	しとなる	成長する	野菜がしとなる
	176	しゃーける	潰れる	家がしゃーける
	177	じやじやぶり	ひどい雨降り	じやじやぶりの天候
	178	しゃびしゃび	液体が薄い	味噌汁がしゃびしゃび
	179	○○じゃん	○○でしょ	話したじゃん
	180	しょうずくなる	かがむ	
	181	しょこなう	背負う	カバンをしょこなう
	182	しょぼくて一	みすぼらしい	しょぼくて一身なり
	183	しれとる	知れている	たかがしれとる
	184	○○しん	○○しない	いきやーしん
す	185	すか	はずれ	くじはすかだった
	186	○○すか	しない	行かすか
	187	すけねえ	少ない	
	188	すずみ	稻むら	すずみを壊して叱られる
	189	○○ずん	○○しようかな	畠へいかずん

せ	190	せこみち	細い狭い道	
	191	せばい	狭い	
	192	せらめえ	しようじやないか	
	193	○○せにやー	○○しなければ	仕事せにやーいかん
	194	○○せん	○○しない	ゴロゴロせんで
	195	ぜん	お金	ぜんが貯まる
そ	196	そいで	それで	
	197	そげな	そんな	そげなこと言わんで
	198	そそかしい	雑である	そそかしい文字
	199	そそくる	繕う	服をそそくる
た	200	た一け	たわけ	お前はた一けだ
	201	たいげ	だいたい	たいげにしとけ
	202	○○だがやー	○○だよ	わしゃがれだがやー
	203	だだくさ	沢山	水をだだくさ流すな
	204	だだもれ	いっぱい漏れる	水がだだもれ
	205	○○だもん	○○なので	急いどったもん
	206	○○だらー	○○だろう	すぐできるだらー
	207	たらわん	着かない	足がたらわんとこへいくな
	208	たりい	つまらない	たりいドラマ
	209	たんと	沢山、どっさり	
ち	210	ちいたー、ちいと	少しは	ちいたー知つとる
	211	ちみきる	つねる	ちみきられた跡
	212	ちゃつと	早く	ちゃつと宿題やつたか
	213	ちょうける	ふざける	
	214	ちようらかす	からかう、あやす、だます	ちようらかすな
	215	ちょごむ	しゃがむ	そこにちょごむな
	216	ちょつきり	丁度	
	217	ちょっぱな	最初	
	218	ちょんぎれる	ちぎれる	紐をちょんぎって
	219	ちょんこい	小さい	ちょんこい順番
	220	ちんちこちん	熱い	湯がちんちこちん
	221	ちんちん	熱い	湯がちんちんで飲めない
	222	ちん丸	まん丸	ちん丸で可愛い犬
	223	ちんめのはぎしり	一生懸命に	
つ	224	つくなる	だらしなく積む	洗濯物がつくなっている
	225	づつない	食べ過ぎで苦しい	腹がづつない
	226	つんどる	混んでいる	道がつんどる
	227	てくらかす	ひっくり返す	てくらかるぞ

て	228	○○てったら	○○といいたら	
	229	てんぐるま	肩車	てんぐるまで歩く
と	230	どいだけ	どれだけ	どいだけあったんだ
	231	どいで	どうして	どいで行ったんだ
	232	どえらい	ものすごい	どえらい怖い話
	233	ときんときん	先が尖っている	ときんときんに削る
	234	どきん	どいて下さい	邪魔だでどきん
	235	○○どく	○○のままにしておく	話さんどく
	236	どぐらす	殴る	
	237	どけ	どきなさい	そこをどけ
	238	どげなだ	どうですか	おばあさんはどげなだ
	239	とぼる	液体が沈殿	とぼつとのを混ぜる
	240	とちんこ	固く結ぶ	とちんこをほどく
	241	どっちゃ	どちら	どっちゃにする
	242	とーのほー	遠くの方	とーのほうへ持って行く
	243	どべ	最後	徒競走でどべだった
	244	とろい、とろくさい	鈍い、馬鹿馬鹿しい	とろくさい話
	245	どんぼち	水たまり	
な	246	なでくる	塗りつける	顔をなでくる
	247	なんご	穏やかに	
	248	なんだん	なにか	なんだん、用事かん
	249	なんでだん	どうしてなの	なんでだん、関係あるの
に	250	にぎりこ	にぎり飯	
	251	にすい	鈍い	
	252	○○にやー	○○しないと	買い物にいかにやー
ぬ	253	ぬくたい	暖かい	今日はぬくたい
ね	254	寝ころびん	寝ころんで下さい	そこへ寝ころびん
	255	寝しま	寝る前	寝しまに風呂へ入る
	256	ねぶたい	眠たい	ねぶたいと言つとる
の	257	の一なる	無くなる	はよ行かんとの一なる
	258	のう	人に呼びかける	
	259	野道具	葬式の道具	
	260	のたくる	のたうつ、七転八倒	
	261	のまる	水が漬かる	
は	262	はい○○した	もう	はい、やっちゃったのかん
	263	はさがる	挟まる	歯にはざがる
	264	はだてる	拡張する	商売をはだれる
	265	はっつける	貼りつける	ちゃんとはっつけりんよ

266	はむ	かがむ	はんどうたら邪魔
267	晩げしま	晩がた	晩げしまに行く
268	番ちょ	順番	
269	はよ	早く	はよやりん
270	はらぎし	腹いっぱい	はらぎし食べる
ひ	ひしゃける	押しつぶれる	
	ひず	押しが強い、無遠慮	ひずがある
	ひづるい	眩しい	西日がひづるい
	びっちゃんこ	ずぶ濡れ	靴がびっちゃんこになる
	ひとなる	育つ、成長する	野菜がひとなる
	ひどめえー	ひどく	ひどめえ一転ぶ
	ひやかす	水に漬けておく	食器をひやかす
	〇〇ひん	〇〇しない	蓋があきやーひん
ふ	ふちやる	捨てる	ごみをふちやる
	ぶちやける	捨てる	水をぶちやける
	ふちゃっとく	放っておく	ふやっとけ
	ふるしき	風呂敷	
	ふんごむ	踏み込む	ぬかるみへふんごむ
	ふんと	本当	ふんとに困った
へ	〇〇へえ	もう	わしゃー、へえ行ってきた
	あのなんへえ	あのねえ	棚尾言葉でよくでる
	ペっしゃんこ	つぶれた状態	球がペっしゃんこになる
	へぼ	弱い	へぼむし
	〇〇へん	〇〇しない	当やへん
ほ	ほいから	それから	ほいからどうした
	ほいじやー	それじやー	ほいじやー又
	ほいだもんで	それだから	ほいだもんで言ったじゃん
	ほう〇〇	そのように	ほう言っとく
	ぼう	追う、追い払う	ハエをぼう
	ほうかる	投げる、捨てる	ボールをほうかる
	ほうかつとく	放っておく	
	ほうちょん	包丁	ほうちょんで切る
	ほえ	呼びかける	ほえ、芋いらんかん
	ほげな	そんな	ほげなことも知らんのか
	ほしい	惜しい	優勝を逃しほしかった
	ほせ	串	ほせを捨てる
	ほだ	そうだ	ほだねえ
	ほっか	そうか	ほっかよかったです

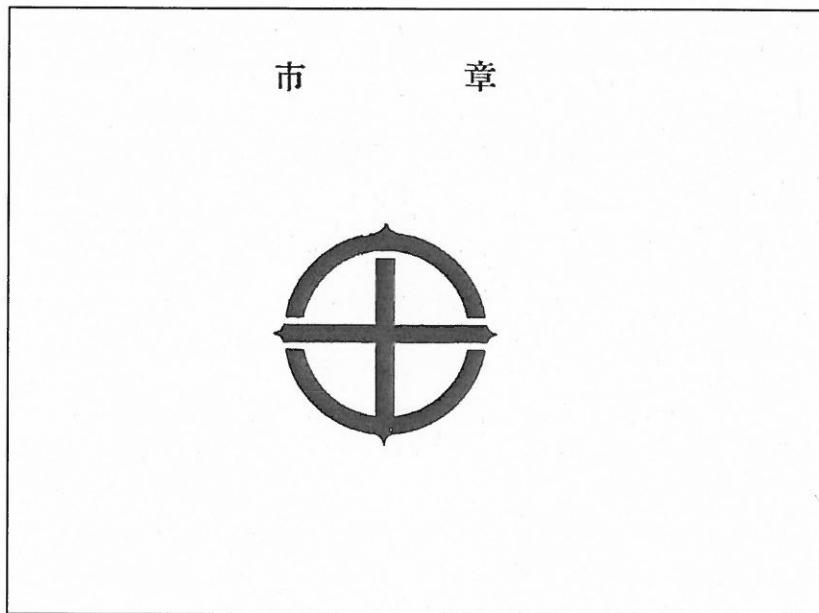
	304	ぼっこ	ぼろ、屑	ぼっこを集める
	305	ほれ〇〇	そら〇〇	ほれみりん
	306	ぼんぐり	棒杭	ぼんぐりを使う
	307	ほんな、ほんなん	そんな、そんなの	ほんなん困るよ
	308	ぽんぽん	膝頭	ぽんぽんをぶつける
ま	309	まあじき	もうすぐ	まあじき来る
	310	まあはい	もう	まあはい来た
	311	〇〇まい	〇〇しましょう	やろまい、いこまい
	312	まいかけ	前掛け	
	313	まぎる	曲がる	信号を左にまぎる
	314	まっと	もっと	まっと食べりん
	315	まっとって	待っていて	玄関でまっとって
	316	まんだ	まだ	まんだ煮えない
み	317	みしろ	筵	
む	318	むだこと	無駄なこと	むだことしないように
	319	むらう	もらう	あの子にむらった
め	320	めっそ	目分量	
	321	めんた	動物の雌	
も	322	もーはい	もう、意外と早く	もーはいできた
	323	もだこと	無駄なこと	もだことしないように
や	324	やあっと	長い間	やあっと会わなんだ
	325	やいき	やる気、元気	やいきがいい
	326	やえる	重複する	話がやえる
	327	やかましい	忙しい	
	328	やぐい	もろい、軟弱	安物なので、やぐい
	329	やぐるう	ひどく苦しむ	夜中にやぐるう
	330	やけずる	火傷をする	口の中をやけずる
	331	やだ	いやだ	
	332	やっとかめ	久しぶり	やっとかめだなー
	333	やっとこ	ようやく	やっとこ会えた
	334	やっとめー	長い間	風呂にやっとめーはいる
	335	やっとる	やっている	何やっとるんだー
	336	やまたけ	せいぜい	
	337	やらめえ	やろうよ	みんなでやらめえ
	338	やろまい	やろうよ	みんなでやろまい
よ	339	よいど	酔いどれ	
	340	ようせん	ようしない	
	341	ようけめえ	たくさん	ようけめえ食う

	342	ようなび	夜なべ、夜業	
	343	よだりい	頼りにならない	
	344	よど	よだれ	よどが出る
	345	よばっとる	呼んでいる	ばあさんがよばっとる
	346	よんどくれん	誘ってください	今度よんどくれん
ら	347	らんごく	乱雑	らんごくですが
り	348	〇〇りん	〇〇しなさい	聞いてみりん
わ	349	わかやひん	分からぬ	どこにあるかわかやひん
	350	わしゃが、わしゃがれ	私の家	わしゃがでやっとくわ
	351	わしゃー	私は	
	352	わしがとう	私たち	
	353	わちや	めちゃくちゃ、ひどい	部屋のなかがわちやだ
	354	わや	めちゃくちゃ、ひどい	部屋のなかがわやだ
	355	わりい	悪い	わりーけん手伝って

棚尾の歴史を語る会 一口テーマ1

今回からテーマとは別に、棚尾にちなむことで短い話を一口テーマとして取り上げる。

「碧南市の市章」



昭和 23 年（1948）4 月 5 日、愛知県碧海郡新川、大浜、棚尾の三町と旭村が合併して市制をしいたとき、記念行事の一環として市民から公募したもので、特選になった棚尾本町の石川三千郎氏の作。同年 6 月 1 日に市章として制定された。

碧南の「ヘキ」を図案化したもので、上が「ヘ」下が「キ」、円形の中の四つの白地は市の母体である旧四力町村のがっちりした協力と相互信頼を表し、市の発展も象徴している。

